

令和元年度

烏山北小学校 校内研究

1年分科会 提案授業

教科:国語

10月18日(金)

授業者:池本 清史

1 研究主題

(1) 研究主題

「世田谷9年教育」研究開発 CM(カリキュラム・マネジメント)スクール

これからの社会を生き抜く児童の育成

～社会科を軸としたカリキュラムマネジメントを通して～

(2) 目指す児童像

自分と世の中をつなぐ子	自分と人をつなぐ子	考えと考えをつなぐ子
世の中に目を向ける 未来の世の中を意識する 世の中で行動する	ペアで学ぶ グループで学ぶ 学級で学ぶ	自分の考えをもつ 考えと考えをつなぐ 1つの考えを生み出す

2 協議会で話し合うこと

(1) 3人組での交流は、話す聞く力を伸ばすために効果的であったか。

(2) 話型の提示や、話す聞くに関する掲示物は、話す聞く力を伸ばすために、効果的であったか。

《画用紙》 分科会で話し合いながら書き、ホワイトボードへ！

青:成果／黄色:質問／ピンク:課題

「ねえ、どっち？」（4時間）

1 小単元の目標

課題について、自分の好きな方をどちらか選んで、自分なりの理由をつけてわかりやすく発表し、話し合う。

2 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現等	ウ 主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題、題材について、自分のとる立場を決めて、その選んだ理由をわかりやすく相手に説明する。 相手に自分の考えを伝え、相手に分かってもらうためには、その考えの根拠が必要であることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 立場や考えの違う友達の意見を聞き、他者の価値観にふれ、ものの見方や感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの理由を考えて、分かりやすく話そうとしている。 対話や話し合いを楽しんでいる。











3 小単元について

- 5月教材「わたしの好きなもの」では、話題を決めて話す学習をした。その学習をもとに、7月教材「えにつきをかこう」では、経験したことを絵日記に書き、声のもののさを意識して、発表する学習をした。1学期末より日直のスピーチを始めた。9月教材「きのうこんなことがあったよ」では、経験した出来事を丁寧な言葉遣いで相手に分かるように順序立てて話すことや、感想や質問をすることを学習した。この学習をもとに、あった出来事を伝え合う「あったこトーク」を週始めと週終わりに行い、日常的に友達やグループで話すことを習慣付け、自分の思いや考えを伝えられる力が育つように学習を進めてきた。

本教材「ねえ、どっち？」は、本来12月教材である。この教材は、課題について自分の好きなほうを選び、自分なりの理由を付けて相手にわかりやすく伝える学習である。課題を身近なものや楽しくて好きなものの中から選ばせることにより、興味・関心をもって真剣にじっくり考えていくことができる考えた。また、友達との対話の中で、多様な価値観に触れ、ものの見方や感じ方、考え方を深めることができる考えた。さらに、相手の気持ちを尊重したり肯定的に聞いたりする態度も同時に身につけさせていくことができる。児童は、この教材で、楽しみながら自分の考えに理由を付けて話す力、自分と違う考えに興味・関心をもって友達の考えを聞く力を付けていくことができる。

本校では、10、11月に生活科「あきとともにだちになろう」で、木の葉や木の実を使って遊んだ楽しさを友達と伝え合う学習がある。また、1月には近隣の幼稚園児や保育園児を招いて学級でお店を開く「北っ子まつり」がある。それらの活動で友達と活発に交流を行ったり、話し合いを円滑に行ったりすることができるように、本来12月教材である本教材をこの時期に行うことにした。

4 カリマネ Point (カリマネ的鳥北プラン参照)

縦カリ （「話すこと・聞くこと」年間指導計画）		1 学期	2 学期	3 学期
	第 1 学年	みづたまみづた おおしきせてはききぬきつ くちのわそう (4月) わたしのききの (6月) いらいなこえ (7月)	きのうこんなことがあったよ (9月) <u>ねえ、どっち (12月)</u> →※10月に変更 (本時)	クイズでおしえます (2月)
	第 2 学年	できたらいいな (5月) 自分の声で (6月)	夏休みの思い出 (9月) 電話でつたえよう (12月)	コンテストに出すこまをきめよう (2月)
	第 3 学年	小さなできごと (5月) 声を合わせて楽しく読もう (6月)	よりよいクラスを作ろう (9月) 南の島へようこそ (12月)	昔のことを聞いてきました (2月)
	第 4 学年	こんなこと、ありませんか (5月) 落語じゅげむ (6月)	安全について考えよう (9月) 大きくなったらなりたいたいもの (11月)	レポーターになろう (2月)
	第 5 学年	おすすめします、この 1 冊 (5月) 狂言じぶり (6月)	メディアについて考える (9月) 写真と絵、どちらを選ぶ? (12月)	動物とともに生きるために (2月)
	第 6 学年	このニュース、わたしはこう思う (5月) わたしたちの言葉 (6月)	おもしろいあの人物 (9月) どんな国? (12月)	平和な世界を築くために ーパネルディスカッションー (2月)
横カリ （第一学年 全教科）	話す力		聞く力	
	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりした発音で話す。  <ul style="list-style-type: none"> ・相手に言いたいことを伝えようとする。  <ul style="list-style-type: none"> ・相手に言いたいことが伝えられる。  <ul style="list-style-type: none"> ・相手に分かるように話す。 (適切な声の大きさ、姿勢、内容)  <ul style="list-style-type: none"> ・あったことを順を追って話せる。  <ul style="list-style-type: none"> ・言いたいことが順を追って話せる。  <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事柄について、話題に沿って話し合える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・相手の言っていることがだいたい分かる。  <ul style="list-style-type: none"> ・話を最後まで黙って聞く。  <ul style="list-style-type: none"> ・相手の言っていることが分かる。  <ul style="list-style-type: none"> ・話していることが、自分と同じ考えか違う考えか分かる。  <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で大事なことが分かる。 	

◎本単元とのカリキュラムマネジメント

国語科 「ねえ、どっち」	国語科 (図書)	「ねえ、どっちがすき？」→読み聞かせ
	行事 (運動会)	「105でアララ♪ (表現運動)」 「エビカニたまいれ」 →テーマに使用
	プログラミング	話型の指導

5 1 年生分科会研究について

本校の研究主題『これからの社会を生き抜く児童の育成』のために、全ての教科の基礎となる国語科の「話すこと・聞くこと」の力を低学年のうちから育てていくことが必要である。

そこで、1年生分科会では、以下の4つの取り組みをすることにより、「話すこと・聞くこと」の力の基礎が身につくと考え、実践を行った。

(1) 掲示物の工夫

日常的に話すこと、聞くことを意識させ、その力を伸ばすために、学習したことを一目見て思い出せるような掲示物を作成した。

話す時、聞く時のポイントを分かりやすく示した「はなしかためいじん」「ききかためいじん」と「こえのものさし」を掲示した。さらに、本単元で学習した自分の考えを分かりやすく伝えるための話型の掲示も、国語科の学習だけでなく、他教科の学習においても引き続き活用していく。

(2) 日常的に取り入れる「あったこトーク」

1年生は、自分を見て欲しい、自分の考えを聞いて欲しい、自分中心の時期である。そのため、自分の話をするだけでなく、友達の話にも耳を傾け、友達にもっと話したい、友達の話も聞きたいという気持ちを育てることが大切だと考えた。そこで、あったこと経験したことを相手に正しく伝えられること、友達や教師の話していることを落とさずに聞き、質問したり感想をもてたりする力を育てることが必要だと考えた。

そのためには、日ごろから話す経験を積み重ねることが大切である。そこで、2学期から週の始めと終わりには、2人組または3人組で、一人1分間ずつあったことや楽しみなことを話す「あったこトーク」を行った。また、日直の時には、学級全員の前で、話す機会をもった。「あったこトーク」では、「いつ」「どこで」「だれと」「なにを」「どうした」「ようす・きもち」の6つのポイントを入れて話すように指導した。はじめは、話すことに苦手意識をもち、前に出るだけで泣いてしまう児童もいたが、「あったこトーク」を重ねるうちに、前で話すことができるようになり、また楽しみにする児童も増えてきた。

(3) 3人グループの活動

「あったこトーク」を始めるにあたり、最初は隣の児童と2人組で行っていたが、あまり話すことが得意でない児童に配慮し、どの児童も友達の話聞き、質問をしたりされたりできる機会がもてるように、意図的な3人組を作り活動することにした。

また、話すことが得意でない児童は、話すことを下書きした「あったこトークメモ」を活用したり、話すことが得意な友達と組むことにより、真似したり教えてもらったりして、伝えたいことを話す練習を積めるようにした。

本単元でも、課題について話し合う際には、意図的に組んだ2～3人グループを活用している。

6 一単位時間の指導

第1時 (全4時間)

10月 11日 (金) 2校時

(1) ねらい

・提示されたテーマに対して自分の好きな方を選び、選んだ理由も考えて伝えることができる。

(2) 展開

		○学習活動 ・ 児童の反応	★指導上の留意点 ■資料 (種類) ◎評価規準【観点】 (評価方法)
つかむ	① 10分	<p>○教師の読み聞かせを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは○○がいい。 ・私は□□の方がいいな。 ・だって、○○の方が～だよ。 ・□□には、(～な) いいところがあるよ。 	<p>■「ねえ どっちがすき？」 (安江リエ文／降矢奈々絵／福音館)</p> <p>★絵本を見せ、質問形式で児童と対話しながら読んでいく。</p> <p>★読み聞かせをしながら、選んだ理由もつぶやけるように促し、めあてへとつなげる。</p>
		<div>めあて</div> <p>りゅうをかんがえて、ともだちに つたえよう。</p>	
取り組む	② 15分	<p>○「105でアララ♪ (運動会表現ダンス)」と「エビカニ玉入れ」では、どちらがよいかを選び、理由も含めワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、「105でアララ♪」がよいです。 なぜならたくさん練習をしてうまく踊れるようになったからです。 ・ぼくは、「エビカニ玉入れ」がよいです。 理由は、踊りもできて、玉をかごに入れることもできるからです。 	<p>■理由を言うときの言い方を考えさせ、手本となる形を掲示物で示す。</p> <div> <p>なぜなら、 りゅうは、 どうしてかという、</p> <p>～からです。</p> </div> <p>★手本に合わせて、答えと理由を書けるワークシートを用意する。</p> <p>★困っている児童には、教師が問いかけ、一緒に考える。</p>
	③ 15分	<p>○ワークシートをもとに小グループ (2～3人) ごとに順番に発表していき、話し合う。</p> <div> <p>話し手：原稿を見ないで発表する。 (難しい場合は、見てもよい。)</p> <p>↓</p> <p>聞き手：質問や感想を言う。 話し手：質問に答える。</p> </div> <p>○学級全体で「いいね」と思った意見や良い聞き方を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エビカニは、おどったり投げたりするから。 ・アララは、毎日練習をしたから。 ・頷きながら聞いてくれた。 ・目を見て聞いてくれた。 	<p>★話し合いを始める前によい反応の仕方について押さえる。</p> <p>→友達意見を聞いて、否定的な意見、態度は嫌な気持ちになることを確認する。</p> <p>★良い聞き方ができている児童 (頷きながら、目を見て、「いいね!」と反応) を見つけておき、紹介できるようにしておく。</p> <p>★次時につなげるように、分かりやすく理由を言っている児童や2つ理由を伝えている児童を見つけておく。</p> <p>◎自分なりの理由を考えて、友達に伝えている。</p>
まとめる	④ 5分	<p>○学習の振り返りを書き、交流する。</p> <p>○次時は、違うテーマで、相手が分かりやすい理由を考えて話すことを知る。</p>	<p>★ワークシートに◎○△マークを記入し、文章で表現できる児童には、振り返りを簡単な言葉で書かせる。</p>

第2時 (全4時間)

10月 15日 (火) 4校時

(1) ねらい

- ・提示されたテーマに対して好きな理由を明らかにして、分かりやすく伝えることができる。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料 (種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	1 5分	<p>○前時を振り返り、本時のテーマを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前は、「アララと玉入れ」の好きな理由を言ったよ。 ・「なぜなら～からです。」と伝えたよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて りゆうをかながえて、ともだちに <u>わかりやすく</u> つたえよう。</p> </div> <p>○理由が2つあるときの伝え方を知る。</p>	<p>★前時のワークシートで、分かりやすい理由が書かれたものを紹介する。</p> <p>■「理由の言い方」掲示</p>
	2 15分	<p>○「どこでもドア」と「タケコプター」では、どちらが欲しいかを選び、理由も含めワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、どこでもドアが欲しいです。理由は2つあります。1つ目は～からです。2つ目は～からです。 	<p>■「どこでもドア」と「タケコプター」の絵を提示する。</p> <p>★書ける児童には、理由は1つだけでなく、2つ、3つ考えて書くように話す。</p>
取り組む	3 20分	<p>○ワークシートをもとに小グループ(2～3人)ごとに順番に発表していき、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>話し手：原稿を見ないで発表する。 (難しい場合は、見てもよい。)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>聞き手：質問や感想を言う。 話し手：質問に答える。</p> </div> <p>○学級全体で「いいね」と思った意見や良い聞き方を発表する。</p>	<p>★良い聞き方ができている児童(頷きながら、目を見て、「いいね!」と反応)を見つけておく、紹介できるようにしておく。</p> <p>★分かりやすく理由を言っている児童や複数の理由を伝えている児童を見つけておく。</p> <p>◎自分なりの理由を、分かりやすく友達に伝えている。</p>
	4 5分	<p>○学習の振り返りを書き、交流する。</p> <p>○次時は、自分たちで問題を作って出し合うことを知る。</p>	<p>★ワークシートに◎○△マークを記入し、文章で表現できる児童には、振り返りを簡単な言葉で書かせる。</p> <p>★次時に「ねえ、どっち?問題」を作りたくなるような投げかけをする。</p>
まとめる	5分		

第3時 (全4時間)

10月 16日 (水) 2校時

(1) ねらい

- ・これまでの学習を生かして、自分で選択問題を作る。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料 (種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	① 5分	<p>○前時を振り返る。今まで学習してきた2択の選択肢を思い出し、どんな問題が適切であるか、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな物で作ろう。 ・みんなが知っているものじゃないと、楽しくないよ。 ・どっちがいいか悩むような問題が、おもしろかったね。 ・わたしは、△△と○○の問題を作ろう。 	<p>★友達が選択を迷うような問題や、楽しく選べるような問題を考える。「りんごと象」のように、カテゴリーの違う物の比較にならないようにする。</p>
		めあて ともだちがたのしめる もんだいを つくろう。	
取り組む	② 10分	<p>○ワークシートを用いて、問題を作る。</p> <div> <p>①もんだいをつくる。</p> <p>②ともだちにかくにんしてもらう。</p> <p>③えをかく。</p> </div>	<p>★1人で問題を作れない児童は、同じカテゴリーの絵が描いてあるヒントカードを活用し、選択肢となる言葉を選んで書けるようにする。</p> <p>★グループ全員の問題ができるように、友達の問題作りのお助けをし、全員が作り終えたら絵を描き入れさせる。</p> <p>◎友達が楽しく答えられるような問題を作っている。</p>
	③ 20分	<p>○小グループ(2～3人)ごとに順番に発表していき、話し合う。</p>	<p>★「りゅうのいいかた」「よいききかた」の掲示を確認する。</p> <p>★一人理由を話したら、聞いた人は反応を返したらよいことを確認する。(頷きながら、目を見て、「いいね!」と反応、質問等)</p>
まとめる	④ 10分	<p>○学習の振り返りを書き、交流する。</p> <p>○次時は、グループや全体で問題を発表したり、それに答えたりすることを知る。</p>	<p>★ワークシートに◎○△マークを記入し、文章で表現できる児童には、振り返りを簡単な言葉で書かせる。</p> <p>★次回は、他の友達に問題を出したり、問題に答えたりすることを楽しみにするような投げかけをする。</p>

第4時 (全4時間 本時)

10月18日(金) 5校時

(1) ねらい

・話す・聞くのポイントを意識しながら、自分たちで作った選択問題を出し合い、交流する。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	① 5分	<p>○前時までの学習を振り返る。本時の見通しをもつ。</p> <p>・自分で「ねえ、どっち？」問題を作った。</p> <p>・作った問題を別のグループの友達と出し合う。</p> <div>めあて ともだちのもんだいに わかりやすく こたえよう。</div>	<p>★「りゆうのいいかた」「よいきかた」の掲示を確認する。</p> <p>★前時までに学習した、分かりやすい発表方法を想起させ、心がけさせる。</p>
			★「わかりやすく」とは、理由をつけて話すことが大切であることを確認する。
取り組む	② 25分	<p>○話し方、聞き方について、確認をする。</p> <div> <p>◎もんだい □と□、どっちが○○ですか？</p> <p>◎こたえ (ぼく・わたし)は、□が○○です。 なぜなら、～からです。</p> </div> <p>○前時に作った問題をグループで出し合う。 順番に問題を出し、問題に対して、理由を付けて自分の考えを答えていく。</p>	<p>★良い聞き方(頷きながら、目を見て、「いいね!」と反応、質問等)の確認をする。</p> <p>◎自分なりの理由を、友達に伝えていたり、友達の話を良い聞き方で聞いたりしている。</p> <p>★グループ全員の発表が終わったら、新しい3人グループを作るために、席を移動させる。</p>
	③ 5分	<p>○全体の場で、良い問題を発表させ、共有する。 また、その問題に対する意見も発表させる。</p>	<p>★良い聞き方ができている児童を見つけておき、紹介できるようにしておく。</p> <p>★分かりやすく理由を言っている児童や複数の理由を伝えている児童を見つけておく。</p>
まとめる	④ 10分	<p>○学習の振り返りを書き、交流する。</p> <p>・理由を2つ言えたよ。</p> <p>・理由を考えて答えることが難しかった。</p> <p>・相手を見て答えられたよ。</p> <p>・自分の答えと同じ友達がいて、嬉しかった。</p>	<p>★ワークシートに◎○△マークを記入し、文章で表現できる児童には、振り返りを簡単な言葉で書かせる。</p> <p>★分かりやすく伝えるために必要なことを振り返り、他の学習の場面でも生かせるようにする。</p>


第1時

★ふりかえり


② (ぼく・わたし)は、
ほうが、すきです。

の

からです。



105
でアララ



エビカニたまいれ

どっちがすき？

「ねえ、どっち？」①


めあて リゆうを かんがえて ともだちに つたえよう。

第2時


★ふりかえり

② が、ほしいです。

は、
①



どこでもドア



タケコプター

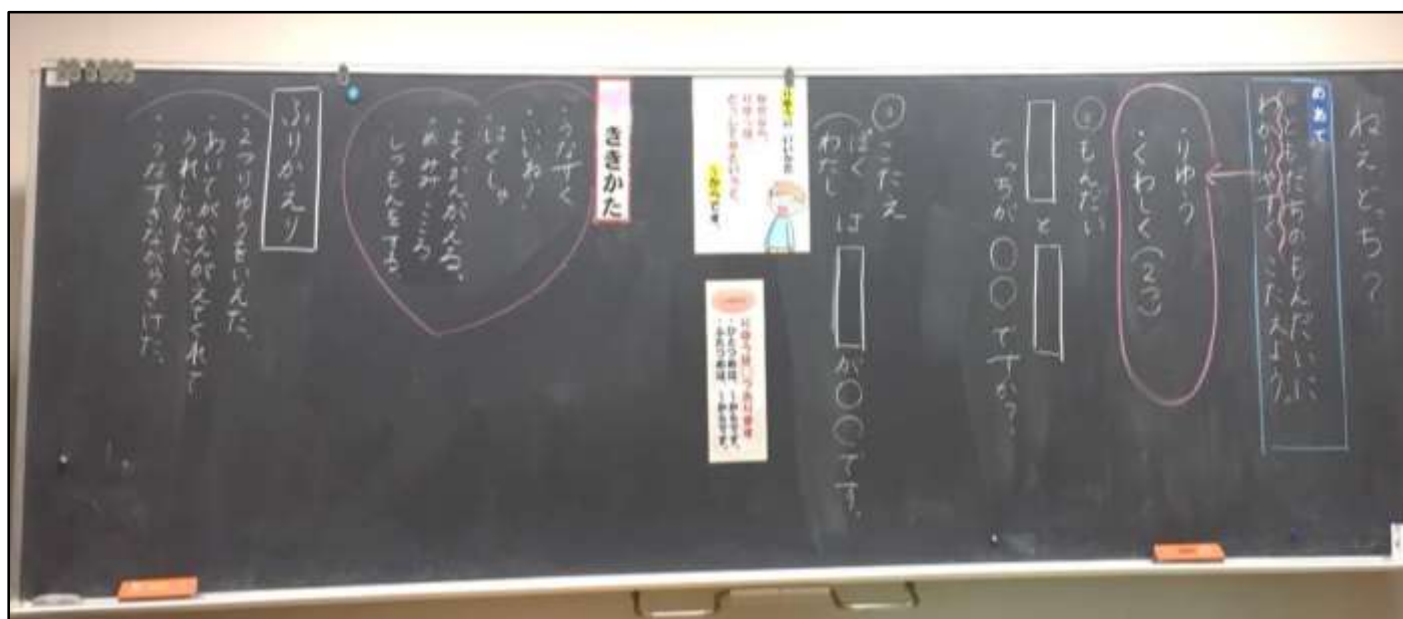
どっちがほしい？

「ねえ、どっち？」②

めあて リゆうを かんがえて ともだちに つたえよう。

<p>★ふりかえり</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 10px;"></div>	<p>「ねえ、どっち？」④</p>	<p>★ふりかえり</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 10px;"></div>	<p>「ねえ、どっち？」③</p>	<p>めあて ともだちが たのしめる もんだいを つくろう。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-size: 24px; margin-right: 10px;">?</div> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 150px; display: flex; flex-direction: column;"> <div style="border-bottom: 1px solid black; height: 50px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px solid black; height: 50px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px solid black; height: 50px;"></div> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">と</p>
---	-------------------	---	-------------------	--

板書計画（本時）



はなしかためいじん



話す聞くに関わる掲示



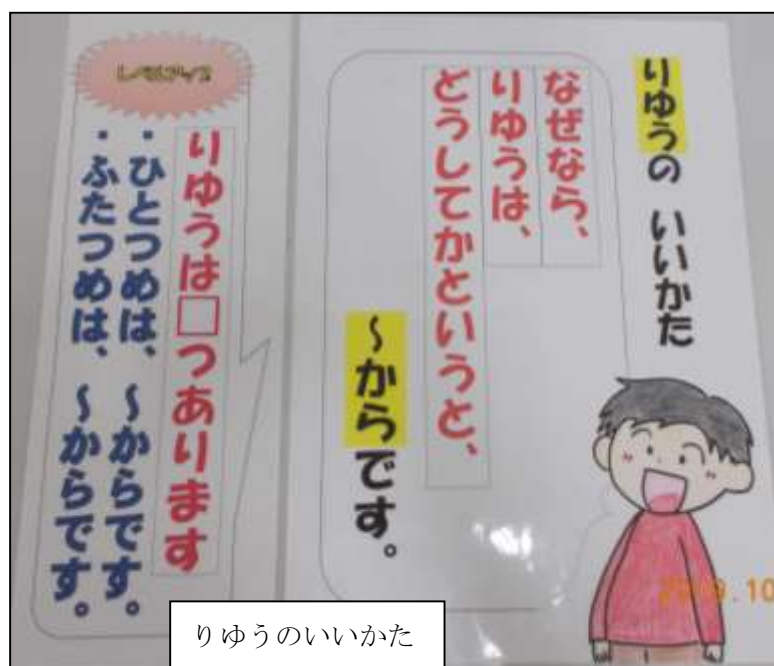
はっぴょうのしかた



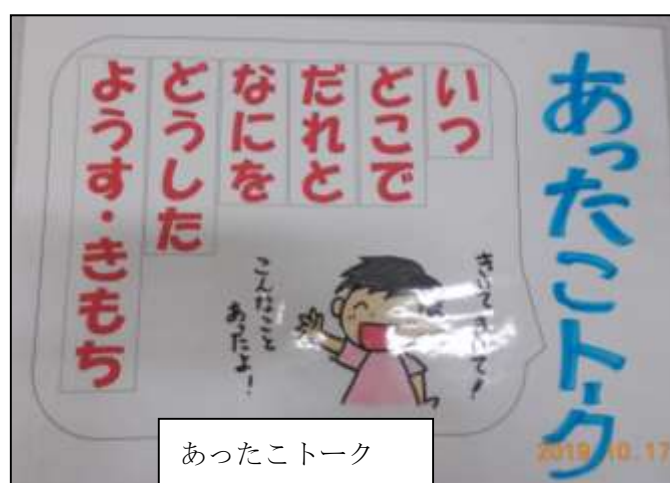
すわるときのじゅもん



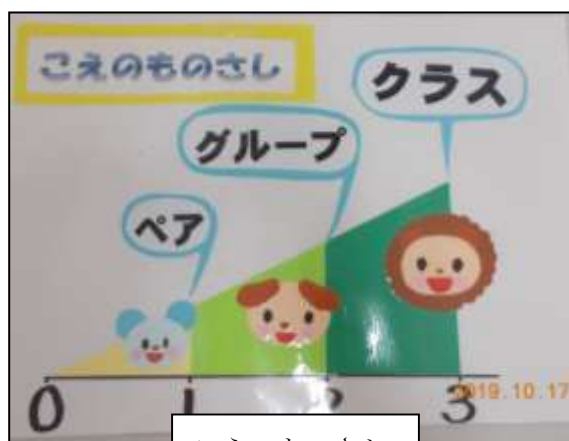
ききかためいじん



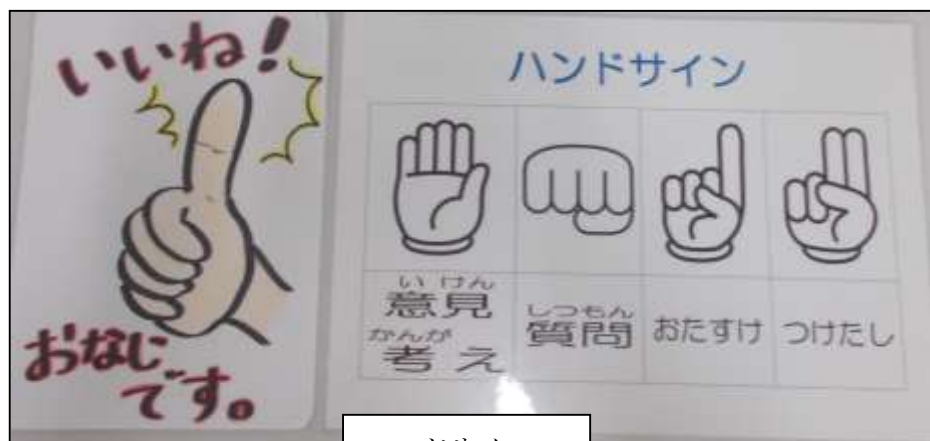
りゅうのいいかた



あったことく



こえのもののさし



ハンドサイン